



おおい なかつ がわ 大井宿 ~ 中津川宿

約 9.8 km

歩き旅

中山道ぎふ17宿とは?

江戸時代に整備された五街道の一つである中山道は、江戸と京都を結ぶ重要な街道で、全長135里32丁(約534km)に69の宿場が置かれました。そのうちの17宿、126.5kmが岐阜県のみ濃地方を東西に横断しており、今も往時の面影を色濃く残しています。その土地の歴史や文化、隠れた魅力の発見を楽しむ街道観光は岐阜県の誇るべき観光資源であるとして、平成25年2月に「岐阜の宝もの」に認定されました。

大井宿

恵那駅前はやや北東、阿木川を大井橋で渡った辺りから上横橋辺りまで、横町・本町・竪町・茶屋町・橋場町の5つの町からなる全長710mの大井宿。本陣は戦後すぐ火災に遭い、立派な正門と庭園あたりが残るのみ、脇本陣も残っていませんが、2つの大井村庄屋の屋敷は健在。そのひとつは中山道ひし屋資料館として、当時の様子そのまま見学できます。天保14年(1843)で本陣、脇本陣に旅籠41軒、家数110軒という資料が残っています。

中山道ひし屋資料館 (大井村庄屋・古山家)

大井宿の有力な商家・古山家の住宅を改修し、大井宿の町屋を体験できる施設として平成12年(2000)に開館。奥の店蔵には、妻籠宿から大湫宿までの紹介と資料展示があります。

9:00~17:00 月曜、祝翌日、年末年始休館
入館料: 大人 200円 18才以下無料

明治天皇茄子川御小休所 (篠原家)

加賀前田家の重臣・篠原一族が当主。代々「長八郎」と名乗り、茄子川村の村方役人、尾張領の庄屋、戸長などを務めてきました。皇女和宮や明治天皇が御小休された建物が現存し、お休みにした部屋、厠、表門などは当時のままに保存されています。

注 国道脇から横断歩道を渡って、国道19号の側道に出て階段を上ります。(案内板あり)

リニア中央新幹線が走る美乃坂本駅周辺

JR美乃坂本駅がある中津川市千旦林坂本地区は、2027年のリニア中央新幹線ルートにあたるエリアです。将来、美乃坂本駅近くには新駅が置かれ、広い車輛基地も建設される予定。昔は中山道の要所として旅人が往来したこの場所に、近い将来、東京~名古屋間を40分でつなぐリニア中央新幹線が停まり、人の流れもきっと変わることでしょう。

中津川市中山道歴史資料館 (脇本陣跡)

中津川宿脇本陣跡地に建つ資料館。館内では中津川宿の歴史を資料展示しています。館裏手には、中津川宿脇本陣の一部、土蔵と上段の間が復元されています。
開館時間 9:30~17:00(入館は~16:30)
月曜・年末年始休館 入館料 大人320円 中学生以下無料

奈良、平安時代の昔から東山道の要衝にあり、江戸時代に整備された中山道の中でも特に賑わった宿場のひとつ。全長1,100m、旅籠屋は大小29軒あったとか。幕末に尊王攘夷を唱えて戦った天狗党水戸浪士の墓や、桂小五郎(木戸孝允)の隠れ家跡が今も残り、薩長の密談・中津川会議が行われるなど、江戸から明治へと変わる激動の時代のカギをにぎった宿場でもありました。



中津川宿